

ドイツ ヴィルデスハウゼン中高等学校 向川さん

留学期間：H29.3 ～ H30.1（1年間）

私は今年の3月から AFS という高校留学をサポートする団体を通じてドイツに留学しています。現在ドイツ留学も5ヶ月目を迎え、語学上達はもちろん学校行事やオーケストラへも積極的に参加できています。

高校留学というと、一般的には英語圏を想像される方が多いと思います。ですが、私はあえて非英語圏であるドイツを選びました。今までの日本の生活の中ではほとんど触れたことのない言語の中で生活することは想像以上に大変で、渡独前に独語の個人レッスンを受けていたにも関わらず、英語とは異なる発音や文法に5ヶ月が経過した今でも戸惑うことがあります。しかし、だからこそ日々の進歩を感じられる場面はとて多く、学校の先生やホストファミリー、友達に語学の上達を褒めてもらえることは本当に嬉しいことです。

学校ではほとんどの授業で教科書を使わずに約20人のクラスメイト全員でディスカッションのように議論しあいます。最初は見慣れない光景に違和感を抱きましたが間違えることを恐れず納得のいくまでとことん議論し合うクラスメイトをとて尊敬し、少しではありますが私も自らの意見を伝えられるようになりました。

私は、幼少期からピアノ、中学・高校と吹奏楽部に所属していたためドイツでは本場の生の音楽に触れたいと思っていました。そして、幸運なことに滞在先がブレーメンの近くだということもあり、友達の紹介でブレーメンの青年オーケストラに所属することができています。参加当初は音楽の専門的な語彙力もないため仲間に迷惑をかけてしまうことも多々ありました。その度に、自分の力の無さを痛感していました。しかし、そのような時でも仲間と共に音楽を奏でられることはとて大きな喜びであり素敵な仲間に出会えて良かったと思っています。

留学により、日本の家族や友達、周りの人々に支えられていたことを改め実感しました。今までいかに自分が人に頼り、助けられていたのかを身をもって感じています。残り約半年ある留学期間を悔いのないよう全うするため"今しかできないことを精一杯取り組む"をモットーに日々生活していきます。



AFS ブレーメン支部の留学生たちと



向川さんが通うギムナジウム（中高等学校）



クラスメイトと



ホストファミリーとの休日の様子



遠足でのクラスメイトとの集合写真



参加しているブレーメンのオーケストラ